



## 第 1185 回例会報告

平成 22 年 7 月 15 日(木) 曇り

### 会長挨拶

会長 長崎政直

#### CLP について

本年度、CLP 会則検討特別委員会を設置いたしました。CLP については、本日の例会で、お話がありますが、その狙うところは、「長期計画の策定」であり、「継続性と引き継ぎ計画の確保」、そして「全ての会員の参加」です。

私たちのクラブに限らず、日本のロータリークラブは、押し並べて、この示された3点の事項がうまくいっていないようです。また、RI が、このような提案をしてくることから考えてみると、世界中のロータリー活動が、同様な課題をもっていると思います。

基本的に、事業の進め方としては、

新規事業の場合は、問題発見→調査→分析→企画→行動→評価のサイクルで回して、

継続事業の場合は、評価(check)→企画(Plan)→行動(Do)のサイクルで回します。会長指針をお話した時に、示した事業展開プロセスです。

クラブ会長要覧を、3月にいただきました。今日の例会にあたり、目を通して見ましたら、かなり重要な提案がありましたので、整理して、コピーをいたしました。皆さんも目を通して考えていただきたいと思っています。

私たちのクラブの39事業においても、多少の変遷はあるものの、なされている事業は、継続事業です。同じ事業がずっと続いています。plan→do→plan→do、か、plan→do→do→do→doでcheckがほとんど入りません。そこに大きな課題があると思っています。

社会奉仕、国際奉仕、新世代活動、単年度で解決できるような課題ではなく、中・長期的取り組みが必要だと思っています。

ロータリーの中には、会長・幹事・委員長が、その思いの中で事業をすればよいという意見もあるようですが、実際は、突発的な天災時の義捐金のようなものを除いて、そんな恣意性・顛末で進められている事業はほとんどないのです。事業の有効性を考えれば、中長期的な取り組みが、大事だということです。5年なり10年なりの目標設

定をし、その中長期的計画を、会員が知っていることも大事です。

ロータリークラブの役員は、1年で交代します。新しい役員さんが、またゼロから始めるのではなく、それまで積み重ねてきた実績(問題発見から評価まで)を再評価し、さらなる効果的な方法を見つけ出し、中長期計画の中の1年サイクルで実行して行く、そして、また評価して、プランをたて、実行していくというサイクルが必要だという提案です。ご検討をお願いいたします。

### ◇幹事報告◇

#### 幹事報告

1. 以下の文書を受領いたしました。

- ① インターネットメールによるロータリー財団(ハイライトよねやま)会報をご一読下さい。
- ② 茅野ロータリークラブ会報誌・事業計画書
- ③ 岡谷エコロータリークラブ会報誌・事業計画書兼事業報告書
- ④ 綿貫ガバナー事務所から社会奉仕委員長名でダメダメ募金依頼

2. 連絡事項

- ① 7/11(日)朝 7 時の諏訪湖湖岸清掃並びにバーベキュー大会が社会奉仕委員会のご努力にて盛大に催されました。
- ② 新会員の高木小里君(推薦人高山巖君サロン・ド・リブ 美容業(エステ))の入会式を催します。
- ③ 委員会を開催したときの報告をクラブ奉仕委員会

#### ■ニコニコ BOX

23名	25,000円
累計	140,000円
目標額	130万円
達成率	10.7%

#### ■出席報告

会員数	34名
出席対象	34名
出席者数	27名
出席率	79.4%
前回修正	82.3%

#### ■今週のことば

美・新人が入会いただきました。大切にお付き合いお願い致します。  
高山 巖

#### ■次回のプログラム

7月29日 休会  
8月5日 夜間例会  
会員セミナー



までお願いします。

- ④ 例会連続欠席者への連絡を各委員長にお願いします。
- ⑤ クラブのホームページが更新されて素敵になっております。(担当者に感謝)

## 新入会員・入会式

新入会員高木小里君の入会式が行われ会長が、バッチと4つのテストの額を贈呈いたしました。



## 新入会員スピーチ

望月 勉

本年度入会させていただきました(有)諏訪冷熱の望月勉と申します。縁あってこれから皆様とご一緒させていただきます。よろしく願いいたします。私はかつて青年会議所にも所属しておりました。卒業して1年半になります。10年の青年会議所活動を通じて人と人のつながり、様々な人との交流することの大切さを学ぶことが出来ました。



ロータリークラブにお誘いいただき、入会しようと決断した要因のひとつに私が存じ上げない方が多いということがあります。既知ではなく、未知の方との交流を通じて数多くのことを学ばせていただけたら、と考えております。

まだまだ未熟者ですので皆様から学ばせていただくことがたくさんあるかと思えます。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

高木小里

今回入会させていただくことになりました、サロン・ド・リブの高木小里と申します。40歳を超えましたが、少し前から、社会貢献をすることが事業を成功させる一つの道ではないかと考えるようになりました。ここにいらっしゃる大先輩の方々の話を聞き、いろいろ教えていただきながら、広い視野と広い分野での社会貢献を果たし、それを自分の事業に生かしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 1185回 例会 CLPについて

CLP・会則検討特別委員会  
委員長 三村 昌暉

CLP導入の可否と、それに伴う細則の修正について今後検討をするための第一歩として、CLP導入の目的と予測される効果についての基本的理解をえる為、担当例会を実施いたしました。持ち時間が25分と短時間の為、基本資料の説明に終わりましたが、議論の入り口にはなったと思います。

CLPについては、議論百出の感が有りますが、ロータリー暦の長短に関係なくCLP導入の可否の議論に参加してもらい、それがクラブを見つめ直す機会となり、クラブ活性に役立てばよいと期待するものです。

下記は資料として使われたスライドです

		<p>今日の資料の説明概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>No.1 2560地区のCLP導入を目指すもの             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) CLP導入の狙い</li> <li>2) CLP導入にあたって</li> </ul> </li> <li>No.2 2560地区CLP推進委員会構成</li> <li>No.3 現行各クラブ委員会構成一例</li> <li>No.4 2560地区(96クラブ)CLP委員会構成の実例</li> <li>No.5 2560地区各クラブのCLP導入手順モデル</li> <li>No.6 2560地区における地区の取り組み手順</li> <li>No.7 CLP導入における地区の取り組み手順</li> </ul>	
<p>RI 2560地区のクラブリーダーシッププラン</p> <p>2008-2009年度 クラブ専任委員会</p>	<p>目的</p> <p>クラブ・リーダーシップ・プランの目的は、効果的なクラブの管理の枠組みを提供することにより、クラブのレベルでロータリーの強化を図ること。</p>	<p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 弱体化したクラブの蘇生</li> <li>● 会員数の減少への対応</li> <li>● 時代の変化に対応したクラブ強化</li> </ul>	
<p>2560地区のCLP導入を目指すもの</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2560地区のCLP導入を目指すもの</li> <li>● 2560地区のCLP導入を目指すもの</li> <li>● 2560地区のCLP導入を目指すもの</li> <li>● 2560地区のCLP導入を目指すもの</li> </ul>	<p>新しいクラブづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果的な委員会運営</li> <li>● 効果的な委員会運営</li> <li>● 効果的な委員会運営</li> </ul>	<p>優れた専任プロジェクトの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果的な委員会運営</li> <li>● 効果的な委員会運営</li> <li>● 効果的な委員会運営</li> </ul>	<p>クラブリーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果的な委員会運営</li> <li>● 効果的な委員会運営</li> <li>● 効果的な委員会運営</li> </ul>
<p>長期計画の立て方</p> <p>『クラブ改革提言』(前橋RCの実例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状認識</li> <li>● 理想的なロータリー・クラブ</li> </ul>	<p>2560地区CLP推進委員会構成</p> <p>委員長 三村 昌暉</p> <p>副委員長 三村 昌暉</p> <p>委員 三村 昌暉</p>		
<p>2560地区各クラブのCLP導入手順モデル</p> <p>1. 2008年 3月22日</p> <p>2. 2008年 5月17日</p> <p>3. 2008年 9月27日</p> <p>4. 2008年 10月10日</p> <p>5. 2008年 10月10日</p> <p>6. 2008年 10月10日</p> <p>7. 2008年 10月10日</p> <p>8. 2009年 7月1日</p>	<p>CLP導入における地区の取り組み手順</p> <p>1. 2008年 3月22日</p> <p>2. 2008年 5月17日</p> <p>3. 2008年 9月27日</p> <p>4. 2008年 10月10日</p> <p>5. 2008年 10月10日</p> <p>6. 2008年 10月10日</p> <p>7. 2008年 10月10日</p> <p>8. 2009年 7月1日</p>		
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CLPはクラブ活性化のための一つの手段である。その基本的な考え方は</li> <li>● 長期計画の立案</li> <li>● 全員参加でクラブを活性化</li> <li>● 将来のリーダーの育成(R教育)</li> <li>● クラブ運営の簡素化 など</li> <li>● 採択は自由だが、それぞれのクラブは</li> <li>● 自クラブが実施するよう、CLPの良いところを取り入れる。</li> <li>● 毎年見直しを図る。</li> </ul>			